



京放技ニュース

11 / 2020
(通算726号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

「眼の水晶体等価線量限度」

(公社)京都府放射線技師会 副会長 久保田 裕一

平成30年3月2日に放射線審議会会長から厚生労働大臣に対し、眼の水晶体に受ける等価線量に係る限度等に関する意見具申がなされました。水晶体の放射線作業者の線量限度は幾度となく改訂がなされてきました。2011年4月21日ソウルで開催されたICRP主委員会会合で「組織反応に関する声明」を発表しました(ソウル声明)。声明の内容は組織反応影響のいくつか、特に非常に遅く発症するものについて、しきい線量がこれまで考えられてきたものより低い、あるいは低いかもしれないことを示唆する最近の疫学的証拠を検討した。眼の水晶体に対しては、吸収線量での閾値は今や0.5Gyと考えられる。また計画被ばく状況での職業被ばくについて、定められた5年間の平均で20mSv/年、かついずれの1年においても50mSvを超えないとする眼の水晶体等価線量限度を勧告する。とICRPのPublication 118は翻訳されています。この声明により国外では、欧州やカナダ、タイ等で取り入れる方向で進みました。国内では平成29年7月に放射線審議会に「眼の水晶体の放射線防護検討部会」が設置されました。その後は検討を重ねて、令和2年4月1日に医療法施行規則の一部を改正する省令が交付されました。内容の1つ目は外部被ばくによる線量測定についてです。外部被ばく線量測定の1cm線量当量、3mm線量当量及び70μm線量当量のうち、実行線量及び等価線量の別に応じて、放射線の種類とそのエネルギーを考慮して、適切な測定を行いなさい。といった内容です。2つ目は眼の水晶体における等価線量限度の変更です。1年間につき150mSvから50mSvに引き下げられました。また令和3年4月1日以後5年毎に区分を行い、各期間につき100mSvの限度となり平均20mSv/年となります。この省令は令和3年4月1日より施行されます。また省令に基づき皆様の施設でも9月7日期限で自主点検が実施されたと思います。この自主点検の結果により、各施設における外部被ばく線量測定の取り扱いについて検討がなされることと思います。眼の水晶体等価線量の測定方法について、また水晶体の防護についても検討が必要となります。京都府放射線技師会からもこれらに関する情報をできるだけ多く発信していきたいと思っております。

放射線防護の最適化は、放射線診療を受ける者の被ばく線量の最適化を意味し、放射線診療を受ける者の医療被ばくを「合理的に達成可能な限り低く(as low as reasonably achievable: ALARA)」するALARAの原則を参考に被ばく線量を適正に管理することが必要です。これは私たち診療放射線技師にとって永遠なるテーマでもあります。この機会に被ばく低減化を正しく理解し、安全で安心な放射線検査を提供できる環境を整える良い機会だと考えます。会員の皆様が中心となって取り組んでみては如何でしょうか。

全地区委員会報告

組織調査委員会 蒲 順之

10月18日（日）午後2時より令和2年度全地区委員会を開催しました。

今年度は新型コロナウイルス禍により初めてウェブ配信にて行いました。また京都府放射線技師会としても初めてのウェブ配信事業となりました。ウェブ配信のツールはマイクロソフトの“teams”を使用し、技師会事務所より配信しました。

参加者は三役、及び常務理事、地区理事、地区委員、常設委員会委員の計40名でした。内容は、三役挨拶、組織調査委員会から京放技地区活動の説明、常設委員会紹介、ミニセミナーとしてJIRA 経済部会・鍵谷昭典様より『2020年度診療報酬改定の概要～画像診断・検査・放射線治療を中心として～』という内容で講演していただきました。

河本会長、久保田副会長は事務所から、原口副会長は遠隔で繋いで挨拶。画面や音声の切り替えなどに大きなトラブルもなくできたと思います。質問はチャット機能を利用して行いました。

ミニセミナーでは、本年4月に実施された診療報酬改定についての解説。概要から施設基準、画像診断管理加算関係、MRI装置の安全管理、各モダリティの変更点、働き方改革やICT、感染症対策にかかわるものまで、非常に内容の濃い講演をしていただきました。

全地区委員会はもともと地区委員と執行部が直接意見交換をする場として開催していますが、今回は社会情勢を鑑みウェブ配信となり趣旨からは外れた形にはなりましたが、ウェブだからこそできたメリットもあったと思います。今後しばらくはウェブ配信を用いた事業が増えてくると考えられます。これを機に人と人の直接的なつながりだけでなく、ウェブを利用したつながりにも参加していただき、技師会活動を盛り上げていただきたいと思います。またメールでご意見や些細な事でも何でもかまいませんので、お寄せください。



第5回理事会 報告及び審議事項内容

令和2年10月10日(京放技会議室)

議長に橋岡理事、書記に蒲理事を選任し午後4時30分より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 河本会長**

- (経過報告)
 ・10月10日 令和2年度第5回理事会新任常務理事(京放技事務所)
 (計画)
 ・10月18日 全地区委員会 (Web開催)
 ・10月31日 令和2年度中間監査 (京放技事務所)
 ・11月1日 日放技フレッシュャーズセミナー (Web開催)
 ・11月7日 令和2年度第6回理事会 (京放技会議室)
 ・12月5日 令和2年度第7回理事会 (京放技会議室)
 令和3年

- ・1月8～31日 第36回日本診療放射線技師学術大会(Web開催)
 ・1月9日 令和2年度第8回理事会 (京都技会議室)
 ・2月6日 令和2年度第9回理事会 (京都技会議室)
 ・2月13日 令和2年度近畿地域診療放射線技師会会長、副会長
 会議・教育委員会予定

- ・3月6日 令和2年度第10回理事会 (京放技会議室)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】後藤理事**

- ・会員数9月30日現在653名(8月から+4)
 (内訳) 名誉会員4名、正会員628名(新入会3名/転入会1名)、
 賛助会員21名(社)

- ・報告事項:
 ・9月19日 功労表彰準備作業 (京放技事務所)
 ・9月25日 収刊文書整理、中間監査準備(吉田、楢、後藤)

- ・10月3日 理事会準備 (京放技事務所)
 ・10月4日 事務処理 (京放技事務所)
 ・対外文書:(9月1日～9月30日)35件

- ・9月4日 京都府放射線技師会雑誌請求書をご発行について
 (株式会社島津アドコム)

- ・9月4日 新JARTIS上での2020年度動続表彰候補者の検索
 ビューについて (JART事務局)

- ・9月4日 診療放射線技師への業務の移管や共同化に係る意向
 調査御礼 (JART事務局)

- ・9月4日 読影の補助分科会サテライト配信事業調査
 (広島県診療放射線技師会)

- ・9月5日 台風10号への対策等について(災害対策委員会より)
 (JART)

- ・9月7日 京都府放射線技師会雑誌請求書をご発行について
 (株式会社島津アドコム)

- ・9月10日 ネット、シーリング工事(工事業者)
 ・9月10日 転入会員様の件(兵庫県放射線技師会)
 ・9月23日 「会費・受講料等の支払い方法」の変更について
 (お詫び)(JART事務局)

- ・9月24日 8月収納会費について (JART事務局)
 ・9月29日 令和2年度公益法人メール情報個別相談の実施日程等
 (京都府総務部総務調整課)

- ・発刊文書(7月～8月)9件
 ・9月16日 全地区委員会の案内
 ・9月18日 令和2年度日本診療放射線技師会動続表彰者推薦に
 ついて

- ・承認事項:新卒入会1名、新入会2名、転入1名を承認
【財務】渡里理事
 ・会費納入状況(令和2年8月末日現在)
 令和2年度会費納入者408名、令和元年度会費未納者14名

- ・報告事項:
 ・9月2日 8月歳入、歳出 財務処理 (京放技事務所)
 ・9月28日 給与処理 (京放技事務所)
 ・9月29日 9月歳入、歳出 財務処理 (京放技事務所)

- 【学術】中川政幸理事**
 ・報告事項:
 ・9月14日 フレッシュャーズセミナー詳細決定(メール配信)
 ・9月29日 理事会での提案事項、スライドについて(メール配信)

- ・今後の予定:
 ・11月1日 フレッシュャーズセミナー開催(Web開催)
【編集】平井理事

- ・経過報告:
 ・9月7日・11日 理事会資料作成・印刷
 ・9月16日・19日・20日・21日・24日・25日
 10月号ニュース 編集作成・校閲(村上・中島)・校了作業

- ・予定:11月号ニュース記事編集
【広報・渉外】三浦理事
 ・報告事項:特になし

- ・理事会提案事項
 府民公開講座の広報活動について
 京都市福祉ボランティアセンターの月刊誌に掲載時、講師名・
 講演内容:開催場所が必要となるため、決まり次第、報告お願
 いいたします。

- 【組織調査】蒲理事**
 ・報告事項:
 ・9月16・23日 フレッシュャーズセミナー案内・全地区委員会案
 内発送作業

- ・10月5日 組織委員会開催 (Web会議)
 ・活動予定:
 ・10月10日 全地区委員会打ち合わせ
 ・10月18日 全地区委員会開催 (Web配信)

【厚生】中川稔章理事

- ・報告事項なし

【情報】大西理事

- ・報告事項:
 ・9月4日 第3回Web会議準備委員会開催
 ・9月9日 ホームページのトップページを更新
 ・9月14日 Microsoft teams購入
 ・9月23日 ホームページのトップページを更新
 ・9月28日 第4回Web会議準備委員会開催
 ・10月1日 情報委員会開催(Web会議/Microsoft teamsにて)
 ・10月5日 ホームページのトップページを更新
 フレッシュャーズセミナー参加登録状況確認(10名)
 組織調査委員会開催補助
 (Web会議/Microsoft teamsにて)

- 事務所のWi-Fiルーターの高出力タイプを購入
 Web会議に必要な周辺機器の広角Webカメラを
 予約購入

- ・予定:全地区委員会及びフレッシュャーズセミナー Web開催準備
 ・提案事項:
 ホームページのリニューアルを検討
 Web会議に必要な周辺機器の整備を行う

- 現在検討中の物品:会議用スピーカーフォン、
 ヘッドフォン(ワイヤレスタイプ・or USBタイプ)、Wi-Fiの
 中継機

【管理士】山根理事

- ・活動予定:
 ・10月13日 京都府原子力総合防災訓練会議出席予定(福知山市)
 ・11月 京都府原子力総合防災訓練参加予定(福知山市)

【両丹学術】橋岡理事

- ・報告事項
 ・10月2日 両丹地区委員(令和2年度内の両丹地区研修会に
 ついて検討)(綾部市立病院)

- ・予定:
 両丹地区研修会開催に向けて検討
 両丹地域各施設の行動制限状況の把握

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・報告事項:
 ・9月19日 令和2年度30年動続表彰推薦予定者 14名
 50年動続表彰推薦予定者 1名
 表彰推薦お知らせと日放技提出履歴書作成10月号
 ニュース同封

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】安藤理事**

- ・報告事項:
 ・10月5日 日放技より令和2年度診療放射線技師給与の動向
 に関する調査のお願いメール配信
 ・10月9日 第1回北地区委員会開催 (Webメール会議)

【中地区】尾岡理事

- ・報告事項:
 ・9月17日 地区委員へ「全地区委員会の開催」参加募集案内配信
 地区委員へ「業務改善推進委員会 京放技委員の募
 集」配信
 ・9月25日 地区委員へ「会費・受講料等の支払い方法の変更」配信

【東地区】加藤理事

- ・報告事項:
 ・9月17日 地区委員に「全地区委員会」メール配信
 地区連絡網にて「業務改善推進委員会 京放技委員
 の募集」メール送信
 ・9月25日 地区連絡網にて「会員情報システム更新に伴う会費・
 受講料等の支払い方法の変更についてのお詫びと
 お知らせ」メール配信
 ・10月5日 地区委員に「診療放射線技師給与の動向に関する
 調査のお願い」メール配信

【西地区】森理事(欠席)

- ・報告事項:
 ・10月2日 メールにて西地区委員へ「全地区委員会開催」の
 お知らせ
 ・10月2日 西地区連絡網にて「診療放射線技師のためのフレッ
 シャーズセミナー開催」のお知らせ

【南地区】杉原理事(欠席)

- ・報告事項:
 ・9月17日 全地区委員会の案内配信
 ・9月25日 情報提供を地区委員へメール送信

【両丹地区】村上理事(欠席)

- ・報告事項:
 ・9月 京放技よりの情報提供を各施設へメール送信
 ・10月2日 両丹地区委員会(本年度中の研修会開催について
 の協議)(綾部市立病院)

【西南部地区】松本理事(欠席)

- ・報告事項:
 ・9月16日 全地区委員会のWeb開催案内をメール送信
 ・10月1日 全地区委員会の案内をメール再度送信

III. その他

- 1) 理事会 Web Live 配信について(大西理事)**
 11月理事会より配信は可、会議欠席者へ配信とする

- 以上、各議案について採択し承認された。(文責:平井)

編集後記

Go to～が政府指導のもといろいろな形で開催され、巷では盛り上がりを見せていますが、身近な人間から食事券を買った、旅行で利用したと言う話は聞きません。自粛ムードがまだまだ抜けきらない私たち医療従事者にはあまり関係のない事なのではないでしょうか。また、Go toトラベルで京都の観光地にも活気が戻ってきているニュースを目にしますが、頭の中によぎるのは「経済復興」と言う文字ではなく、「クラスター」や「第三波」であり、Go to～を利用する事には私自身まだまだハードルが高く思われます。

病院でのマスクやガウンの供給はかなり落ち着きを見せ、私生活においても街中でのマスク装着率もかなりのものですが、みなさんのマスク装着感はいかがですか。私はどちらかと言えばマスク装着は好きではありません（このご時勢に何を言っているんだか）。目は口ほどに～と言いますが、マスクをされていると表情からの相手の考えや顔から受ける印象と言うものが読み取れずコミュニケーションが取りにくい事に苦慮しています。自身は、院内での事務処理や自動車通勤時など一人になれるとほっとして外します。私のマスク嫌いは常に紙マスクを使用していると言うことも原因の一つかもしれません。巷ではいろいろな布製マスクを目にする事が多くありますが、知人によれば最近では、付け心地の良い通気性に優れた（いいのか？）フィット感良好で形崩れしにくいスポーツ社製マスクがあるそうです（マスクマニアの意見です）。みなさんも今年の冬は特に寒くなるそうですので防寒の意味も込めて自分流マスクの探索をご検討してはいかがでしょうか。

編集委員会 平井 靖

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 重要案件事項なし

▶ 11月以降の日放技・京放技活動

11月1日（日）	フレッシュャーズセミナー（Web開催）
2021年	
1月8日～1月31日	第36回日本診療放射線技師学術大会 Web開催予定
	参加登録 2020年10月5日～12月17日
	参加費 会員1,000円（非会員2,000円）

▶ 統一講習会予定

2020年	11月22・23日	東京
2021年	1月16・17日	東京
	2月20・21日	大阪
	2月27・28日	東京

会 員 異 動

- 【新卒入会】 1名
 【新入会】 2名
 竹村 英作（タケムラ エイサク） 田辺病院（南5）
 【転入】 1名

編集：（公社）京都府放射線技師会編集委員会 印刷：（有）修美社